



岐阜市

議会だより

第76号

令和5年
1月26日発行



先頭を走る川内選手

【主な内容】

10～12月会議で決めたこと	2
令和4年度補正予算	2
委員会レポート	4
一般質問(9人が登壇)	8
市民の声	13
議会改革特別委員会(結果報告)	14
議会だよりクイズ	16

第35回 岐阜の島新春マラソン大会

ゲストランナーとして川内優輝選手をお招きし、3年ぶりの開催となりました。

爽やかな青空の下、775人のランナーが完走しました。

議会の情報を発信中!

Facebook



議会の様子を配信中!

YouTube



10～12月会議で決めたこと

10～12月会議で決まった主な事業を紹介します。

◆「吉岐市長、副市長及び教育長の給与に関する条例」並びに「吉岐市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例」の一部改正について

人事院勧告に基づく国家公務員の給与に関する取扱いを踏まえ、市長、副市長、教育長及び議会議員の期末手当の支給率を調整するため、所要の改正を行う。

◆吉岐市企業版ふるさと納税基金条例の制定について

企業版ふるさと納税については、原則として寄附を受けた会計年度の事業に寄附金を充てることとなっているが、本基金を設置することで翌年度以降の事業にも寄附金を充てることが可能となることから、寄附いただいた企業の意向に沿って、寄附金を柔軟かつ最大限に活用するために本基金条例を制定する。

◆公の施設の指定管理者の指定について

市が所管する各施設の管理・運営について委託する。指定期間は、令和5年4月1日～令和8年3月31日までとする。

○吉岐出合いの村 ○吉岐市猿岩物産館

指定管理者：吉岐出合いの村振興会 会長 平田 光弘

○吉岐市宮印通寺共同店舗

指定管理者：石田町商店連盟 理事長 堀江 敬介

○吉岐市国民宿舎吉岐島荘

指定管理者：一般財団法人吉岐市開発公社 理事長 品川 洋毅

◆吉岐市副市長の選任について

任期満了に伴い眞鍋 陽晃 氏の再任について同意した。任期は4年間。

審議結果をP6の「議案と審議結果一覧表」に示しています。

令和4年度 補正予算

一般会計の10～12月補正予算額計 9億2,046万6千円

特別会計の10～12月補正予算額計 476万3千円

一般会計+特別会計補正後の予算額合計 331億6,567万1千円

○令和4年度各会計予算一覧

(単位：千円)

会計名	現計予算額	10月補正予算額	12月補正予算額	補正後予算額合計
一 般 会 計	23,735,516	450,466	470,000	24,655,982
特別会計				
国民健康保険	3,696,266		5,184	3,701,450
後期高齢者医療	389,971			389,971
介護保険	3,753,594		△ 3,938	3,749,656
下水道	410,908		218	411,126
三島航路	125,672			125,672
農業機械銀行	128,515		3,299	131,814
合 計	8,504,926		4,763	8,509,689
一般会計・特別会計の合計	32,240,442	450,466	474,763	33,165,671

○企業会計予算一覧

(単位：千円)

会計名	内 訳	現計予算額	10月補正予算額	12月補正予算額	補正後予算額合計
水道事業会計	収益的収入	766,002			766,002
	収益的支出	790,015		23,452	813,467
	資本的収入	205,089			205,089
	資本的支出	454,755			454,755



どんな予算のあと?



キャッシュレス消費喚起対策事業 5,064万1千円 **新規**

物価高騰の影響を受けている市民生活と市内経済の活性化を目的として、PayPayを活用したキャッシュレス消費喚起対策事業を行う。

●事業内容

市内加盟店においてPayPayを活用して支払った場合、1回の会計で上限3千円、期間中1人最大1万円分のポイントを還元する。

- ① 還元率：最大20%
- ② 実施予定期間：令和5年2月1日～28日
- ③ 市内加盟店数：450店舗（令和3年度末時点）

ふるさと応援寄附金 3億2,314万5千円 **増額**

ふるさと応援寄附金制度は、首都圏と地方の税収格差の是正を目的とし創設された。納税者へ本市のふるさと納税を推進し、地域活性化に向けた様々な政策を実施するため、財源の確保を図る。

●事業内容

返礼品やポータルサイト見直しなどの事業改善の効果もあり、ふるさと応援寄附金が当初を上回る見込みで集まっている。よって寄附金額（歳入）を増額するとともに関係する費用（歳出）を補正する。

○ふるさと応援寄附金 2億円増（5億円→7億円）

1) 寄附金＝基金積立金→2億円

2) 関連事務費用 1億2,314万5千円

- ① 返礼品 6,900万円（還元率30%＋ポイント分）
- ② 事務処理手数料 2,125万5千円（ポータルサイト手数料）
- ③ ふるさと納税支援業務委託料 1,760万円
- ④ その他 1,529万円

芦辺港ターミナルビル管理費 573万5千円 **増額**

芦辺港ターミナルビルの維持管理・環境管理を実施し、利用者の安全性・快適性の確保を図る。

●事業内容

芦辺港ターミナルビルの機械・設備が老朽化（塩害等）により故障したため修繕を行う。併せて、施設の一般業務委託の精算による事業費を減額する。

- ① 1階待合所エアコン更新
- ② フロアーヒンジドア交換

芦辺港ターミナルビル整備事業 2,618万6千円 **増額**

芦辺港ターミナル一元化を推進し、利用者の利便性の向上及び地域経済の振興を図る。

●事業内容

芦辺港ジェットfoil乗場移設に伴うターミナルビルの改修のための設計及び駐車場等再編整備のための測量設計を行う。

- ① 芦辺港ターミナルビルの改修設計 一式
- ② 駐車場等再編整備測量設計 一式

保育所ICTサービス導入事業 15万6千円 **新規**

新型コロナウイルス感染症対応をはじめ、公立保育所に通う保護者との緊急連絡システムを構築し、安全安心な施設運営を図る。

●事業内容

緊急連絡システム利用料 15万6千円（1～3月分）



委員会レポート



総務文教厚生常任委員会

12月会議で付託された9議案については全て可決、陳情1件については採択とした。

【委員会意見】

陳情第1号：大谷体育館第二体育室（地下）冷房設備の設置についての陳情

第二体育室については主に卓球競技において、競技力の向上、健康増進、親睦と融和を目的に、学生から高齢の方まで幅広く多くの方が利用されており、その環境を整備することで更に利用者の増加が期待できる。予算措置等の関係もあることから、設置の必要性について関係部署を含め検討願いたい。



産業建設常任委員会

12月会議で付託された9議案については、全て可決した。



予算特別委員会

12月会議で付託された令和4年度一般会計補正予算(第9号)については原案のとおり可決した。



決算特別委員会

9月会議で付託された令和3年度壱岐市一般会計歳入歳出決算認定については認定した。

【委員会の経過】

本議案は、9月会議において質疑まで終了し、決算の細部については、各常任委員会の所管事務調査の中で審議を行った。

■令和3年度決算額

(単位：千円)

区 分		歳入総額	歳出総額	差引額	翌年に繰越すべき額	実質収支額
一般会計		24,563,388	23,760,875	802,513	79,433	723,080
特別会計	国民健康保険事業	3,659,033	3,647,553	11,480	0	11,480
	後期高齢者医療事業	360,332	356,239	4,093	0	4,093
	介護保険事業	3,781,218	3,606,376	174,842	0	174,842
	下水道事業	304,968	304,947	21	0	21
	三島航路事業	113,547	113,547	0	0	0
	農業機械銀行	114,722	91,907	22,815	0	22,815
	特別会計の合計	8,333,820	8,120,569	213,251	0	213,251
一般会計・特別会計の合計		32,897,208	31,881,444	1,015,764	79,433	936,331

■令和3年度未収金一覧

(単位：千円)

未収金内訳	令和3年度	令和2年度	増減額
市税	146,243	161,246	△ 15,003
分担金・負担金	2,451	4,993	△ 2,542
使用料・手数料	30,828	35,214	△ 4,386
国庫支出金	522,771	449,481	73,290
県支出金	168,291	215,780	△ 47,489
財産収入	910	901	9
諸収入	27,157	27,444	△ 287
国民健康保険税(返納金含む)	150,048	178,746	△ 28,698
後期高齢者医療保険料	2,527	3,585	△ 1,058
介護保険料	41,197	40,690	507
下水道使用料	2,268	2,120	148
農業機械銀行使用料	995	235	760
合 計	1,095,686	1,120,435	△ 24,749

議案と審議結果一覧表

開催月	議案番号	議 案 件 名	付託委員会	本会議採決結果	
10月	報告第17号	損害賠償の額の決定に関する専決処分の報告について	—	10/24	報告済
	報告第18号	損害賠償の額の決定に関する専決処分の報告について	—	10/24	報告済
	議案第49号	令和4年度吉崎市一般会計補正予算（第8号）	省略	10/24	可決
12月	議案第50号	吉崎市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	12/22	可決
	議案第51号	吉崎市市長、副市長及び教育長の給与に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	12/22	可決
	議案第52号	吉崎市職員の給与に関する条例及び吉崎市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	12/22	可決
	議案第53号	吉崎市税条例等の一部改正について	総務文教厚生	12/22	可決
	議案第54号	吉崎市企業版ふるさと納税基金条例の制定について	産業建設	12/22	可決
	議案第55号	吉崎市堆肥センター条例の一部改正について	産業建設	12/22	可決
	議案第56号	吉崎市消防本部等設置条例の一部改正について	総務文教厚生	12/22	可決
	議案第57号	公の施設の指定管理者の指定について（吉岐出会いの村）	産業建設	12/22	可決
	議案第58号	公の施設の指定管理者の指定について（吉崎市猿岩物産館）	産業建設	12/22	可決
	議案第59号	公の施設の指定管理者の指定について（吉崎市宮印通寺共同店舗）	産業建設	12/22	可決
	議案第60号	公の施設の指定管理者の指定について（吉崎市国民宿舎吉岐島荘）	産業建設	12/22	可決
	議案第61号	訴えの提起について	総務文教厚生	12/22	可決
	議案第62号	令和4年度吉崎市一般会計補正予算（第9号）	予算特別	12/22	可決
	議案第63号	令和4年度吉崎市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	総務文教厚生	12/22	可決
	議案第64号	令和4年度吉崎市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	総務文教厚生	12/22	可決
	議案第65号	令和4年度吉崎市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	産業建設	12/22	可決
	議案第66号	令和4年度吉崎市農業機械銀行特別会計補正予算（第2号）	産業建設	12/22	可決
	議案第67号	令和4年度吉崎市水道事業会計補正予算（第3号）	産業建設	12/22	可決
	議案第68号	損害賠償の額の決定について	総務文教厚生	12/22	可決
	認定第1号	令和3年度吉崎市一般会計歳入歳出決算認定について	決算特別	12/22	認定
	陳情第1号	大谷体育館第二体育室（地下）冷房設備の設置についての陳情	総務文教厚生	12/22	採択
	同意第6号	吉崎市副市長の選任について	省略	12/13	同意
	同意第7号～第25号	吉崎市農業委員会委員の任命について	省略	12/22	同意

●賛否（賛成、反対）のあった議案

議案番号	森俊介	樋口伊久磨	武原由里子	山口欽秀	中原正博	山川忠久	植村圭司	清水修	赤木貴尚	音嶋正吾	小金丸益明	中田恭一	市山繁	土谷勇二	賛成	反対	結果
議案第50号 沓崎市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	1	可決
議案第51号 沓崎市、副市長及び教育長の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	12	2	可決
議案第61号 訴えの提起について	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	11	3	可決
議案第62号 令和4年度沓崎市一般会計補正予算（第9号）	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	1	可決
認定第1号 令和3年度沓崎市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	12	2	認定

豊坂敏文議員は議長のため採決には入りません。

議案第50号《反対討論》

新型コロナの感染拡大、ロシアのウクライナ侵攻による世界経済の混乱や円安によって国民生活は苦境の中にある。議会議員として、国民生活を支える政治の課題に取り組み、沓岐の経済を活性化させることが求められている。今、議員報酬を上げることは市民の理解を得られるとは考えられない。

議案第51号《反対討論》

少なくとも困った人の思いや生活に寄り添ってできることはないかと考え、行動することが私たち政治家の責任。そんな思いから議員、市長を含む特別職の給与の引き上げは市民生活の現状と市民の思いに寄り添っていくことを考えたらやめるべき。

議案第52号《賛成討論》

地域経済を支える力は市民の消費力にかかっており、その大きな力を持つものの1つが自治体職員である。また、若い世代の職員にとって子育て・教育費の負担が多くなっており、給与の引き上げが切実である。しかし、今回の改定は正職員だけにとどまり会計年度職員の待遇改善をするものになっていないことは問題であるため、是正を強く訴える。

議案第61号《反対討論》

地方自治体が市民を裁判に訴える行為に出ることは十分慎重であるべき。権力として市民への抑圧に繋がってはならない。裁判による強引なやり方ではなく、対話による解決こそ進む道であり、その道に市民の信頼が寄せられる。裁判による訴えで解決する問題ではないので、訴えをやめることが生活保護行政のあり方だと考える。

議案第62号《反対討論》

新型コロナウイルス感染症対応事業は感染症及び燃料価格高騰による影響を受けている運送事業者に対する支援である。運送事業者には海運と陸運があるが、海運の沓岐対馬フェリーは長崎県や対馬市からも補助支援を受けているが、沓岐市も遅れてはいけなくて300万円の補助支援をするのか。行政として考える事は第1番に困っているところをまず先に支援すること。大きい所は力があるが小さい所は早く支援しなければ倒産という危険がある。沓岐に20社ある陸運こそ支援が先ではないか。長崎県、対馬市と横並びの発想ではなく弱者をしっかり守る立場にたって政策を立案し、執行にあたるべきと考える。

認定第1号《反対討論》

1つ目の理由はコロナ禍の中で苦しむ市民への支援が不十分な点である。財政難を理由に高齢者や生活に困っている人に冷たい政治になっている。保険料の値下げ、減免などの支援が必要。また、様々な団体の補助金が削減され、地域の活力が失われてきている。子育て支援では保育料の軽減や給食費等の負担軽減の支援が必要と考える。2つ目の理由は国の補助金を受けて、省エネ再エネの名で多額の予算をつぎ込んだり市外の企業への委託事業が多く、市民生活の向上に繋がっていないこと。3つ目の理由は農業、漁業への経営支援が不十分であること。沓岐の今後の畜産、漁業を支える後継者育成に成功していないことも心配である。4つ目の理由は人口減少、高齢化対策が不十分であること。もっと子育て支援に力を注ぐこと、また高齢者の健康維持、増進の取組が求められている。市として国が行う施策に唯々諾々と従うのではなく、市民負担を求めることには反対の声をしっかりあげる、市民生活を守る役割を果たすべき。



一般質問

9人が登壇 市政を問う

市政全般について個々の議員が自由に質問するものです。掲載内容は、主な質問と答弁の要旨であり、質問議員自らが、原稿執筆したものです。

右下のQRコードをスマートフォンなどで読み取ってダウンロードすると、一般質問の音声を視聴できます。

※読み取り方法は、スマートフォン等の機種によって異なります。

※ダウンロードすると、通信料が発生します。費用は利用者の負担になります。



小金丸 益明 議員

質問 下水道・漁集における料金格差の是正について

答 料金統一をはかっていく

小金丸 郷ノ浦地区の公共下水道と、石田の山崎地区、芦辺の恵美須・瀬戸浦・芦辺浦地区の漁業集落排水整備事業(以下「漁集」)の2つの事業の使用料の格差について現状は。

建設部長 郷ノ浦の下水道使用料が石田町と芦辺町の漁集の使用料よりも安価となっている。令和2年度に全ての下水道事業が完了したことから、令和6年度の料金統一に向けた検討を行っている。

小金丸 平均的な使用量である20tの料金はそれぞれ、下水道が3,040円、漁集が4,240円で月々

1,200円もの差がある。下水道は加入金として15万円を徴収、漁集は逆に10万円を助成しているが、使用料の差額により既に相殺されている。料金統一に向けては、加入金15万円をいただいている郷ノ浦地区の方の心情も考慮しなければならないと考える。加入金の返還をもってその足がかりにすることを提案する。

建設部長 年数経過で不均衡についても一部相殺されている。料金統一に向け、加入金返還も含めて検討していく。

小金丸 この際使用料は水道料金の8割まで料金を抑え、加入の促進に取り組むべき。また合わせて合併浄化槽の設置推進を。

市長 加入金の返還、料金の低減化も総合的に考え、令和6年度の料金統一に向けて合意形成を図っていく。また、合併浄化槽の設置推進についても力を入れていく。

	基本料 (5t)	超過料 (1t)	県平均 (20t)	20t使用料	30t使用料
公共下水道	520	168	3,080	3,040	4,720
漁業集落排水	640	240	3,350	4,240	6,640
差 額	120	72		1,200	1,920



山口 欽秀 議員

質問 市長の政治姿勢を問う

答 公平・公正・公開の姿勢は今も変わらない

山口 子ども・子育て会議の傍聴を認めなかったのは自治基本条例違反ではないか。

市長 条例は原則として公開だが、取り扱う案件において例外的に非公開もある。

山口 認定こども園の建設、へき地保育所の今後のあり方を検討する内容が傍聴をさせない例外に当たると言うのか。

市長 すべき、すべきでないかはあくまで委員長の考え方に基づくもの。私が指示するものではない。

山口 今回のことが例外の根拠になるというのか。

市長 私が公開しなさい、すべきでないとか口を挟むことは許されない。

山口 会議の内容から傍聴させなかったのは正しかったというのか。

市長 原則公開することは絶対公開するということではない。あくまで委員長の判断である。

山口 賛成・反対様々な意見の人を公平に扱うのが、市長の責務である。市民の関心事にその責務を果たしていないと考える。原則公開に例外を作って傍聴をさせないのは条例の目的を達成させなくする行為である。

漁業の課題

山口 壱岐市の水産業の現状は。

農林水産部長 漁獲量の減少、生産コストの高止まり、高齢化、後継者不足と厳しい状況。国県事業を積極的に活用し、市独自事業で支援してきた。

山口 漁業経営の支援に今1リットル10円の補助に加え、さらに補助が必要と思うが。

農林水産部長 燃料支援を増やして出漁に利用されるか難しい。10円補助を継続する。

山口 漁師は魚を取って収入になる。漁に出る意欲に繋がる燃油代の補助は重要だ。栽培漁業、稚魚の放流の現状は。

農林水産部長 実績はなかなか掴めない状況である。

山口 磯焼け対策と放流はセットで本腰で取り組むことが必要。



植村 圭司 議員

質問 障がい者が暮らしやすい島に

答 「※おもいやり駐車場」の利用促進に努める

植村 スーパーや商店、様々な事業所に「障がい者用駐車場」があるが、健常者が利用している実態がある。事業者により市から費用負担等をして、障がい者が駐車場を利用しやすくする対策が必要では。

市民部長 県おもいやり駐車場制度の利用促進に努める。

植村 明確な看板等の設置が有効、との論文がある。今後も予算化に向けて研究を求める。



身障者用駐車場利用証

高齢者の見守り対策は

植村 島内で、独居高齢者の孤独死が報道され問題になっている。対策は。

保健環境部長 令和3年7月時点で独居高齢者は1,729人。民生委員等が定期的な見守りや安否確

認をしている。相談は、地域包括支援センター等の利用を。

植村 壱岐署によると年に約10件の孤独死事例がある。まちづくり協議会で対策に成功した事例もあると聞くので、市全体に展開を望む。

子育て施策について

植村 「市公立幼稚園及び保育所運営の在り方（平成26年答申）」策定後、人口減少が著しく幼児教育無償化等も始まり環境が大きく変化している。いつまで答申の方針を続けるのか。

市民部長 今後も答申を基本とし、必要に応じ支援事業計画の見直しをしながら、保育の量と提供体制の確保に努める。

植村 ちょうど1年前に国は「地域における保育所・保育士等の在り方に関する検討会のとりまとめ」を公表している。人口減少地域、離島についても触れている。市も考え方を変えていかないと、国政策についていけなくなる。

市長 意見を参考にして、担当部局と相談して進めたい。

※注釈：おもいやり駐車場：県に協力施設として登録した駐車場について、駐車場の利用に配慮が必要な方に利用証を交付し、利用できる方を明確にすることで、適正利用を図る制度。



赤木 貴尚 議員

質問 SNSやインターネット上の誹謗中傷への対策について

答 あらゆる防止策、対応策を全力で取り組む

赤木 SNSやインターネット上での誹謗中傷をどのように考えるか。

総務部長 誹謗中傷という言葉は法律上の定義はないが、一般的には、人や企業に対して不快な思いや恐怖心をもたらすものは全て誹謗中傷と捉える。誹謗中傷行為は、人権侵害に当たり、時として法的責任を負うこともある。

赤木 総務省『#NoHeartNoSNS』の取組の情報発信は。

総務部長 現在は周知に至っていないため、今後は誹謗中傷で悩まれる方々が気軽に相談でき、安心安全に生活していただく為に、ホームページやケーブルテレビ等で周知する。



総務省
ホームページ

赤木 誹謗中傷を受けた方の相談はどこで対応するのか、相談窓口はあるのか。

総務部長 SNSやインターネット上での誹謗中傷に限らず、いじめや差別など幅広い人権問題について、吉崎人権擁護委員協議会、法務局、長崎県と連携して対応している。

赤木 吉崎市独自の取組の考えは。

総務部長 特化した取組はないが、指摘いただいた総務省の取組を周知徹底して関係機関と連携して啓発活動を行う。

赤木 小中学校での取組はあるか。

教育長 学校では、道徳の授業において情報モラルの教育を行っている、PTAにおいては、市P連研修や総会、単Pの研修会でも講師等を招き積極的に取り組んでいる。

赤木 吉崎市職員に対しての被害はないか。

総務部長 コロナ関係で一部の職員に対して事案があった。該当職員に長崎県の新型コロナウイルス感染症関連人権相談窓口を紹介した。



市山 繁 議員

質問 吉崎空港整備に係る要望について

答 知事の回答は厳しい

市山 要望書に対する大石知事の回答と感触を問う。

市長 滑走路延長は予算規模が膨大。国の支援が必要不可欠と厳しい。

要望の経緯について

市山 吉崎市の要望とは温度差がある。今後の要望と空港の維持存続の検討について。

市長 滑走路延長ができない現状で新しい定期航路の開拓はできない。まずは調査費の予算確保をお願いした。粘り強く要望活動を行うことが重要。

吉崎空港ターミナルビルの改築計画について

市山 吉崎空港ターミナルビルは昭和40年建築で築57年と耐用年数も経過している。来年の夏にはORCの新機種ATR機が就航される。10月30日には県内離島を結ぶ路線で共同運航が開始

され、ORCの座席をJALでも販売され期待を持てる。吉崎島の空の玄関口である改築計画を。

市長 知事要望はもとより出来る限り努力を重ねた結果、要望が叶わないと判断した場合は改築を行いたい。それまでは滑走路延長について強く申し入れたい。



吉崎空港

土地規制法について

市山 政府は令和4年10月11日、安全保障上重要な施設周辺を対象とする土地利用規制法の特別注視区域と注視区域については対馬市、五島市は指定されているが、同じ離島である吉崎市でも海上自衛隊があるが、特別注視区域や注視区域の候補地の指定はされていないか。

総務部長 年内の指定予定に吉崎市の区域は含まれていない。全国で約600か所が指定される予定であり、吉崎市は国境離島であり自衛隊や海上保安署の施設もあるので、今後市内の関連する地域は区域指定されるものと考えている。現在まで国の意見聴取等は受けていない



武原 由里子 議員

質問 不登校の相談支援体制について

答 スクールソーシャルワーカー（SSW）を中心に個別に対応

武原 別室登校や短時間登校の児童生徒数と相談体制は。

教育長 別室登校は中学生9人。短時間登校は7人で、相談室・保健室・通級指導教室で相談員や養護教諭、空き時間の先生が学習支援を対応。心の教室相談員の存在が大きい。

武原 「i ネット」の利用状況は。

教育長 教育委員会への電話はないが、SSWが個別に家庭訪問。

武原 ひきこもりの現状と相談窓口は。

市民部長 生活支援ネットワーク会議で対応。社会福祉協議会に委託し、4年間で17件の相談。

武原 当事者や親への支援の会が吉岐だけないが、取組は。

市民部長 社協と協議を進める。

将来を見据えた保育行政を

武原 待機児童がいない中で公立保育園の定員を変更しない場合、民間小規模保育所の存続が厳しくなる。定員数見直しの時期は。

市民部長 待機児童は0歳14人。へき地保育所閉園と民間こども園開園後1年間の希望状況を見極めて、定員数は見直す。

武原 0～2歳の小規模保育所の存続のためにも、定員払い事務費補助の検討を。

市民部長 4施設あるが、現時点では検討していない。

市長 民間の保育施設を守っていく。

武原 第2期市子ども・子育て支援事業計画の改定時のパブリックコメントが必要。こども家庭庁設置に伴う事業計画見直しの時期は。

市民部長 答申を基本に計画を見直しホームページ等で周知。国の動向を見ながら対応する。

高齢者の緊急通信システムは

武原 シルバーホンが廃止されているが、今後の取組は。

市民部長 現在も10人は利用中。今後新しいシステムの構築が必要と考え、研究する。



音嶋 正吾 議員

質問 独居所帯への強力な支援を・政策転換を

答 サポートしたい

音嶋 65歳以上の独居老人が1,479人。65歳以上の夫婦のみ所帯は2,950所帯ある。年間孤独死での死亡者は10名である。

市民部長 高齢者世帯での状況把握のため民生委員、包括支援センター、公民館役員の協力を得て取り組む。

音嶋 非常時に行政とSOS連絡網の整備が必要である。吉岐市としての基本的な考え方は。

市民部長 関係機関と協力しながら見守っていく。

吉岐市の潜力を活かした産業へのシフト転換

音嶋 農業・漁業政策の効果的支援が不十分である。吉岐を全国に先駆け食料供給基地とする取組こそが吉岐市版SDGsであると思うが。

農林水産部長 農業・漁業は吉岐市経済の要である。関係機関に働きかけ、吉岐への思いを持つ若者世代の支援に取り組む。





樋口 伊久磨 議員

質問 スポーツ合宿誘致
助成金等の更なる支援策
はあるか

答 現状の補助金、助成金で対応する

樋口 新型コロナウイルス感染症の流行から観光需要は著しく低下。コロナ禍3年目に入り回復はしつつあるものの依然として厳しい状況にあるというのが現状。そのような中、本市はスポーツ合宿の利用が好調と聞く。市長も、今後大会開催や誘客促進に取り組むとの行政報告があった。好調の要因は、市の助成金の増額と補助金である。コロナ禍で落ち込んだ観光需要に、合宿並びに大会開催は交流人口拡大の重要なコンテンツと考える。現在の助成金、補助金に次ぐ新たな支援策はないか。

企画振興部長 スポーツ合宿はコロナ禍前と比較すると、令和2年の上期と令和3年上期の比較では3.6倍、令和4年では5.2倍となっており、補助金、助成金の効果と判断する。今後更なる支援策

は、令和4年度から助成金は増額したばかりで、現在の支援額を継続する。

中学校の部活動について

樋口 国は令和5年度までに全国の中学校で、休日の部活を学校から切り離すとの方針と発表。長崎県においても長与町が来年度当初までに町立中学校の運動部活動の内、休日に行う活動を全て地域に移行する方針。恵崎市に於いてはどのような計画があるのか。

教育次長 文科省は令和5年度から休日の運動部活動の場を、段階的に地域に移行していく事を求めている。長崎県では令和2年から部活動の在り方に関する検討委員会が設立され、地域移行における現状と課題を分析整理し、方向性について議論が行われている。本市ではまず、4中学校の校長と協議を進め、現状把握と課題の共有を行って行く。指導に携わる先生方の考え方と、外部から支援頂いている指導者の意見を聞く事が重要と考える。関係者の意見から状況を把握し恵岐市の今後の在り方計画が見えてくると考える。



清水 修 議員

質問 出産・子育て応援
交付金事業活用の方針は

答 相談支援と経済的支援を中心に
進める

清水 政府の2次補正予算において、自治体の創意工夫で活用できる出産・子育て応援交付金事業が盛り込まれたので、①伴走型相談支援の取り組み方②結婚・妊娠・子育て応援サイトの活用について伺う。

保健環境部長 令和4年度の妊娠届出数は約120件を見込んで支援計画を進めている。子育て世代包括支援センターの保健師や家庭相談員等の専門職と連携して、妊娠期から出産・子育てまでの柔軟な支援ができるよう相談支援と経済的支援の2つを中心に検討を進めている。

市民部長 応援サイトへのアクセス状況は令和2年度が2,734件、令和3年度が1,904件。今後も新たな事業や取組などは随時更新しながら市民に発信する。

清水 現状での課題は0歳児の待機児童に対する保育士と場所の確保だと思うが、この子育て応援交付金事業は活用できないか。

市長 国の政策に関わらず、どのような支援策があるか、5年度は思い切った施策を議会に相談したい。

水道事業の維持管理について

清水 水道管の腐食による漏水対策として漏水調査には多額費用と期間が必要。豊田市では人工衛星とAI活用による漏水検知を行い、費用と調査期間が減少した事例と聞くが、恵岐市の水道維持管理の現状と検討の価値を伺う。

建設部長 水道管の総延長は1,004km。令和4年度は、調査距離120km、2,000戸を目標に実施。有収率の確保に努めている。水道事業の維持管理のため現在委託業者とICT技術を活用した共同研究を行っているので、豊田市の動向を注視し、精度や費用対効果の結果を見極めた上で検討を考えていく。

議会研修会

令和4年10月25日(火)、自治体議会研究所 代表 高沖秀宣 氏をお招きし、議会研修会を実施しました。議員と執行部が出席し、「議員の資質向上と議会運営の基本」と題して、二代表制や議会改革などについて講演していただきました。



市民の声

「議会だより第75号」
クイズ応募者よりいただいた
ご意見ご感想です。

遊興施設が少ないので、あればうれしいです。
両親が温泉好きなのですが、昨年から入湯券が
減り、行く回数が減っています。元の枚数頂けたら
と思います。これから温泉にはもってこいのシーズ
ンに入ります。何卒よろしくお願いします。(46歳)

子供が病気の時や預ける事
が(保育園等)困難な時に、短時
間でも見てくれる病児保育や職
場と隣接、または連携した保育園
などがあると、シングルの方もどん
な家庭の人も働きやすいのかな？
と思います。(25歳)

「どんな予算のあると？」
吉州弁の活用、関心が出ます。
コロナ禍の中いろいろと予期
せぬ支出、予算化が生じ、自
治体の議員さんの奮闘ぶり
に感謝しております。(86歳)

YouTubeでの
配信ありがとうございます。
ざいます。(31歳)

多くの競技ですばらしい成績
を残している子供達に環境を整
備してやりたいですね。(77歳)

浜辺に集まる海鳥

議会改革特別委員会 結果報告

令和3年定例会12月会議において本委員会が設置され、計12回の会議で協議を重ね、次の5項目について決定しました。

- ① 広報・公聴のあり方について
- ② 議会運営のあり方について
- ③ 議員定数について
- ④ 政務活動費について
- ⑤ 議員の育児休暇について

1

決定事項

① 広報・公聴のあり方について

- ア インターネットのユーチューブに録画した動画を試験的に配信する。今後、議会において、その効果について検証を行い、動画配信を継続するかの判断が必要である。

決定理由等 市民に開かれた議会の更なる推進が図られる。

イ 議会報告会の開催方法

当面、現在行っている、各常任委員会で開催する方法を継続する。

決定理由等

市政の課題や住民参加のまちづくり等について、多様な意見を聴取すると共に、より専門的分野の議論を深め、議会及び議員の政策提案機能の強化拡充を図ることが出来るため。

② 議会運営のあり方について

議員間討議の実施方法を具体的に規定する。

決定理由等

議会力を高めるため、議会基本条例に規定されている議員相互の自由討議を実効性のあるものとし、市政に関する重要な課題等について、議員間での討議を活発に行うことが出来るため。

③ 議員定数について

現時点では、議員定数の変更が必要な状況ではない。

決定理由等

議員定数を削減して、人口減少や財政悪化に伴う住民サービスの低下に向かい合い議会として対応する、また、議員間競争が促進され活動内容の向上が見込まれる等の意見も出された。しかしながら、多様な住民意思を市政に反映させるという議会の根本的な機能を維持向上させるためには、現定数が必要であるという意見に集約した。

④ 政務活動費について

議員個人に対して月額1万円の政務活動費を交付する。このための条例等は現在の議員任期中に制定し、交付開始は現任期終了後の令和7年8月以降とする。

決定理由等

交付への反対意見として、議員選挙の時点で政務活動費が無い制度の下で議員になっている、また、交付される金額を有効活用できるのか、あるいは、市民の理解が得られるのか、等が出された。しかしながら、調査研究等、議員活動の充実を図るためには、どうしても必要な活動費であるという意見に集約した。

⑤ 議員の育児休暇について

壱岐市議会会議規則の「欠席の届」に規定されている「欠席の事由」を「出産及び育児休業の取得を推奨する」等の文言に改訂する。

決定理由等

反対意見として、条項を逆手に取って長期欠席する議員が出てくることが危惧される等が出されたが、出産・育児への配慮を明確に規定することにより、議員活動と家庭生活の両立が図られ、議員がより活動しやすい環境が生まれ、市議会議員に多様な人材の進出が期待できる、という意見に集約した。

2

その他、協議した項目

決定事項の他に約14項目についても協議したが、結果的に既存の考え方を単に踏襲したものや、本委員会での判断になじまないとしたものは、表記していない。

以上のとおり、議会改革特別委員会の報告とします。

議会改革特別委員会

委員長	土谷 勇二
副委員長	森 俊介
委員	武原由里子
	中原 正博
	植村 圭司
	清水 修
	赤木 貴尚

この報告については議会改革特別委員会で協議及び調査した結果報告であり、決定事項ではありません。今後、議会においてこの報告の内容をもとに審議を行います。

クイズに答えて図書カード(1,000円)が当たります。
皆様のご応募待ってま〜す!!

議会だよりクイズ

この議会だよりの中に
答えがありますので、
最初から最後まで良く
読んでみてください。



吉崎大大神祭 (令和4年12月20日)

Q1 吉崎市企業版〇〇〇〇納
税基金条例を制定

Q2 キャッシュレス〇〇喚起
対策事業を実施

Q3 保育所〇〇〇サービス導
入事業で安全安心な施設
運営へ

第75回クイズの答え

- ① 勝本
- ② 人権
- ③ 50

第75回クイズの当選者

吉川タカ子 様
西 圭介 様
真辺 亜美 様
市橋 純子 様
稲本 節子 様

おめでとうございます!

《応募方法》 クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、
ハガキでご応募ください。

議会だよりを読んだご感想や、市政へのご意見・ご要望など
お書き添えください。

ご意見などは、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介
させていただきます。

正解者の中から、抽選で5名の方に図書カード1,000円分を
お贈りします。(当選者の発表は次号に掲載)

《あて先》 〒811-5521

吉崎市勝本町西戸触182-5 吉崎市議会事務局宛

《しめきり》 令和5年2月28日(当日消印有効)

《個人情報の取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送・当選者発表及び『市民の声』等の目的以外には利用いたしません。

例年になく寒さが体に堪える新
年を迎えました。
新型コロナウイルス感染拡大が
続き、島内で影響が広がっていま
す。物価の高騰で買い物をするの
も気が重く、何かしら荷物が軽く
なっています。
世の中の明るい話題を探して新
聞に目をやりました。スポーツ以
外に『カピバラの露天風呂、ゆっ
たりほっこり』の記事と写真が目
につきました。心が痛むニュース
があふれる中で小さい温まる記事
に心が和みます。
今年も市民の皆さんが議会だよ
りを読んで、明るい未来が見えて
元気がでる内容に
するために議会活
動を頑張ろうと思
います。

山口 欽秀



編集後記

議会広報特別委員会
委員長 山川 忠久
副委員長 武原由里子
委員 樋口伊久磨
山口 欽秀
植村 圭司
清水 修
中田 恭一

お知らせ

吉崎市ホームページ

<https://www.city.iki.nagasaki.jp> の市議会の
インデックス(見出し)を検索すると、市長行
政報告及び議員の一般質問の音声を生で聞くこ
とができます。また市議会会議録は、議会事務
局・市役所郷ノ浦庁舎(総務課)・各庁舎(市民
生活班)・各図書館で閲覧できます。ご利用くだ
さい。



公職選挙法の規定について

お中元・お歳暮や、祝儀・
見舞い等の金品を送ることや、
暑中見舞い・年賀状などの挨拶
状や有料の広告は禁止されて
おります。

市民みなさまのご理解とご
協力をお願い申し上げます。

吉崎市議会議員一同

発行責任者 議長 豊坂敏文
編集 議会広報特別委員会

〒811-5521

長崎県吉崎市勝本町西戸触182-5

TEL : 0920-42-1114

FAX : 0920-42-0096

【E-mail】 iki-gikai@city.iki.lg.jp

【URL】 <https://www.city.iki.nagasaki.jp/>

